

監査・実地指導等における主な指摘事項について

令和2年(2020年) 12月23日

札幌市保健福祉局

障がい保健福祉部障がい福祉課

(指導担当)

目次

● 実地指導における着眼点(共通)	3
● 実地指導における着眼点(訪問系)	9
● 実地指導における着眼点(日中活動系)	11
● 実地指導における着眼点(施設入所系)	13
● 実地指導における着眼点(児童)	14
● 優良事例について	15
● 苦情、通報対応について	16
● 虐待について	17
● 不適切な事案が発生することについて	19
● よく聞かれること	20
● 新型コロナウイルス感染症関連情報	22

実地指導における着眼点（共通①）

- 従業者と雇用契約を交わしているか。また、秘密保持の誓約書を徴しているか
- 出勤の記録が適切か
 - 法人役員であっても、人員基準上配置することとされている従業者の場合は、出勤時間を確認できる記録が必要です
- 指定を受けた場所で支援を行っているか
 - 指定を受けた場所に隣接する部屋を勝手に利用していた事例がありました

実地指導における着眼点（共通②）

- 計画は適切に作成されているか
 - 利用者の状態・希望を分析、確認し
 - どのような目標を設定するか
 - そのために、どういった支援を行うか
 - 実際、支援を行ってみて、達成度はどうか
- 同じ計画が何年も続いていないか
 - 本当に今までと同じでよいのか

実地指導における着眼点（共通③）

- 契約書に「サービス提供開始日」が記載されているか
- 重要事項説明書に「提供するサービスの第三者評価の実施の有無」が記載されているか
 - 実施していない場合は、その旨記載
- サービス提供の記録は、どんな支援を行ったかわかるようになっているか
- サービス提供実績記録票に利用者からの確認を得ているか
- 研修計画を立てて、それに沿って研修が行われているか

実地指導における着眼点（共通④）

- 利用者負担の項目及び金額を示しているか
 - 利用者にご負担いただくものは、項目、金額を運営規程、重要事項説明書に記載しているか
- 請求書、領収書を発行しているか
- 法定代理受領通知書を渡しているか
 - 自己負担がない利用者にも渡しているか

実地指導における着眼点（共通⑤）

- 虐待防止の体制は適切か
 - 虐待防止責任者を選定すると運営規程にありながら、実際には選定されていない事例が散見されます
- 避難訓練を行っているか。また、その方法は適切か
- 事故報告を上げているか
 - 同じような事故を起こさないようにすることが大切

実地指導における着眼点（共通⑥）

■ 処遇改善加算

- 処遇改善計画書を従業者に周知しているか
- 処遇改善加算を誰にいくら渡したかの記録があるか（給与明細に記載なし、など）
- 研修計画、研修実施記録は十分か

実地指導における着眼点（訪問系①）

- 計画は作成されているか。また、具体的な支援手順を書面化しているか
 - 計画に基づいた支援を行うので、計画の作成は絶対条件
 - 計画が作成されていない場合は、給付費全額が返還となる場合がある。
- 2人支援で入っている場合、その必要性や役割分担が計画に記載されているか
- そもそも適切な支援か

実地指導における着眼点（訪問系②）

- 計画にない支援を行っていないか（利用者以外の支援も含む）
 - 計画はあるものの、記録を見ると計画と全然違う支援をしていた事例
 - 支援を受けられない利用者以外の家族から頼まれて支援をしていた事例（家族への支援が必要であれば、別途必要な手続きを経て支援）
- 行動援護において、支援計画シートが作成されているか
 - 未作成の場合は5%の減算

実地指導における着眼点(日中活動系①)

- 食事代が食事提供体制加算対象者とそれ以外の人で料金が分かれているか
 - 食事提供体制加算対象者 ⇒ 食材費のみ請求
 - 食事提供体制加算「非」対象者 ⇒ 食材費と、調理をする人の人件費相当分
- A型事業所において生産活動で得た収入で、賃金をまかなえているか
 - 生産活動で賃金をまかない切れていない事業所は、収支の改善に向けてしっかり取り組む

実地指導における着眼点（日中活動系②）

- 施設外就労を行っている場合、事業所に残っている従業者で人員基準を満たすか
- 施設外就労を行っている利用者に対して月2回以上、達成度の評価を行っているか
- 欠席の記録は十分か
 - 欠席の連絡を受けた日時や、利用者の状況、相談援助の内容等の記録が確認できない事例

実地指導における着眼点（施設入所系）

- 日々の支援記録は十分か
 - 支援記録が不十分な場合、そもそも支援を行っていなかったと疑われる
- 外泊の記録が十分か
- 金銭管理は適切に行っているか

実地指導における着眼点(児童)

- 人員基準を満たしているか
- 送迎の記録は適切か
- 欠席時対応加算を算定する場合の、記録は適切か
- 慢性的な定員超過となっていないか
 - 定員超過減算にならないければ、定員を超えて受け入れてよいということではない
- 自己評価結果等を公表しているか

優良事例について

- 支援内容の向上に努めている事業所の取組
 - 事業所内でケーススタディを行い、これまでの支援を振り返って内容の改善を進めている。
 - 利用者への支援状況を管理者や従事者間ですぐに共有できるように簡易なデータベースを構築している。
 - 複数の支援員がローテーションで支援することで、特定の支援員が従事できなくなった場合も継続的な支援ができるようにしている。
- これらの事例を参考に、各事業所においてもサービスの質の向上に取り組んでください。

苦情、通報対応について

- 虐待通報が増えています
 - 昨年度は、虐待により利用者が死亡するという極めて重大な事案が発生しました
 - 虐待認定件数も増加傾向にあります
 - 虐待防止の研修は、必ず「定期的に」実施してください
- 職員の逮捕に至った事案も複数発生しています
 - 傷害致死、傷害、窃盗、青少年健全育成条例違反・・・

虐待について①

- 昨年度、利用者が死亡する虐待事案が発生
 - 事業所は指定の全部効力停止6ヶ月の行政処分
- 他にも複数の案件が虐待認定されています

虐待について②

- 「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」に「早期発見チェックリスト」が掲載されています
 - 身体に不自然なアザや傷跡
 - 自傷、他害行為が増えてきたと感じる
 - その他普段と異なる様子

これらは、虐待の兆候かもしれません

- 市に通報してください(通報義務があります)

不適切な事案が発生することについて

- 職員の職場環境が遠因となっている場合も考えられます
 - 職場の人間関係
 - 給与などの待遇
 - 長時間労働や、深夜、早朝の支援
- 一度不適切な事案が発生すると、事業所の信頼が損なわれます

よく聞かれること①

- 記録はどのくらい書けばよいのですか？
 - 記録は当然に必要です
 - たくさん書けば良いというものでもありません
 - 大切なことは、あとで見たときに分かるようにしておくこと
 - ✓ いつもと違うことがあった
 - ✓ 事故、苦情の記録は丁寧に
 - ✓ 責任者の方は記録のチェックも
 - 毎日同じ記録になっていませんか？

よく聞かれること②

- 利用者や保護者とトラブルになったがどうしたらよいか
 - まずは記録を丁寧に残しましょう
 - 関係者で情報を共有しましょう
 - 解決困難な場合は、協力してくれる相手を探しましょう
 - あとで、「振り返り」をすることをお勧めします
 - ✓ 必要に応じて、対応マニュアルの見直しもお願いします

新型コロナウイルス感染症関連情報

■ 障害福祉サービス事業所等で働く皆さまにご確認いただきたい情報を札幌市公式ホームページにまとめております。
http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/shingata_corona/taisakugaido.html

- 札幌市では、介護事業所・障害福祉サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症対策の一助としていただくため、事業所向けの研修動画や、感染対策マニュアルを作成しております。
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症対策研修動画
 - ✓ 新型コロナウイルス感染対策マニュアル(令和2年11月改定)
 - 事業所等における教訓事例も載っていますのでご確認ください。
- 事業所の職員、利用者がPCR検査を受けることになった場合は、コロナPCR報告書に必要事項を記載の上、障がい福祉課へ提出してください。

